

第3期市地域福祉計画を策定



みんなが笑顔になる思いやりの地域を目指しましょう(29年7月28日、市福祉運動会)

人口減少や少子高齢化、核家族化が一層進行し、高齢者のみの世帯が増加する中、地域ではさまざまな生活上の課題が生じています。行政が行う福祉サービスを充実させるだけではこの課題を解決することはできず、また、住民相互の助け合いだけでは困難です。市は、これまで取り組んできた第2期市地域福祉計画の成果や社会情勢の変化などを踏まえ、行政による福祉サービスの充実と住民相互の助け合い、支え合いを一体のものとして取り組むため、平成30年3月に第3期計画(計画期間は30年度から5年間)を策定しましたので、その概要をお知らせします。

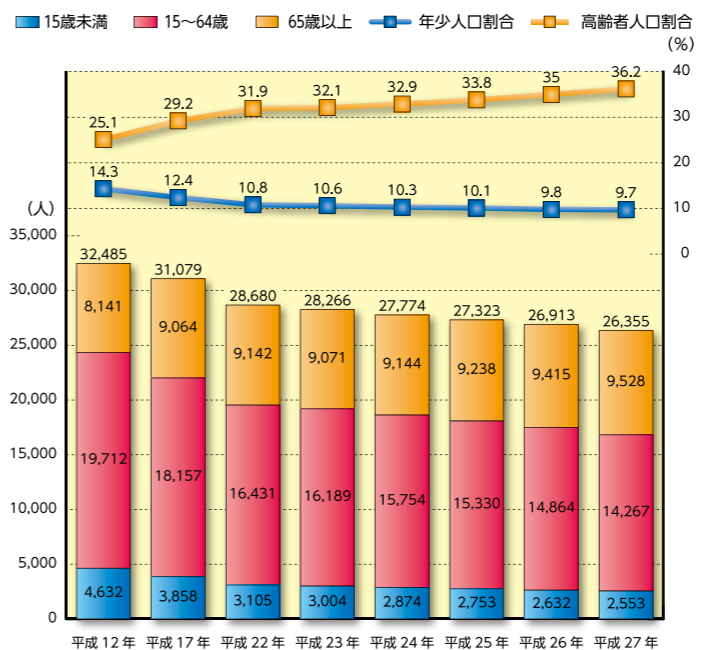
少子高齢化がさらに進む

本市の人口はどのように推移しているでしょうか。町村合併以前の平成12年から27年までの市の年齢3区分別総人口と、その割合は下の表のとおりです。

表からは、総人口が年々減少し、年少人口割合(15歳未満の人口の割合)も低下する一方、高齢者人口割合(65歳以上の人口の割合)が高くなり、少子高齢化が進んでいることが分かります。

また、表内にはありませんが、1世帯当たりの人数も減

表 市の年齢3区分別総人口と割合の推移



出典：平成12・17・22・27年は「国勢調査」、23年～26年は「県保健福祉年報」※人口の合計には、年齢不詳の人数を含みます

少を続け、12年の3・3人から27年には2・8人となり、核家族化も一層進んでいます。

課題を踏まえて計画を推進

第2期計画では「福祉サービスで安心して暮らせるまちづくり」「地域で共に支えあうまちづくり」「思いやりの心で楽しく暮らせるまちづくり」の3つを基本目標として取り組んできました。

これらの取り組みに対して、アンケートや意見交換会などを基に福祉施策の展開の評価・検証を行ったところ「人口減少と高齢化」「近所付き合いや地域活動」「地域での避難支援」「福祉・保健に関する情報提供」「生活環境などの整備」について、多くの人が課題と捉えていることが分かりました。

第3期計画は、これらの課題を踏まえ、一人一人が思いやりを持ち、みんなが笑顔になる地域づくりを目指し、進めていきます。

基本理念と基本目標

計画は「人と人が自然に支えあうまちづくり」「みんなが笑顔になる思いやりの地域を目指して」を基本理念とし、基本目標は、次の3つです。

①福祉サービスで安心して暮らせる体制づくり

住み慣れた地域で安心して暮らすためには、福祉サービスが必要となったときに、必要な支援が適切に受けられることが重要です。

そのためには、気軽に相談できる環境づくりなどが重要です。高齢・障がい・児童などの分野を超えた包括的な支援が可能となるような仕組みづくりを目指し、福祉サービスの充実を図ります。

②地域で共に支え合う仕組みづくり

私たちの暮らしの基本は地域にあり、住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、地域での人々のつながりや支え合いが重要です。一人一人が共に支え合い、住み慣れた環境の中で安心して暮らしている地域社会の実現のため、地域や関係機関・団体のつながりを深めることにより、身近な地域での支え合いの活動を、地域住民が主体的に行えるよう支援します。

また、地域福祉に関する知識や理解を深める人が増えていくような取り組みを推進します。

③思いやりの心で楽しく暮らせるまちづくり

地域福祉を推進するためには、お互いを尊重し思いやる心が必要です。地域行事や世代間交流事業などにより、高齢者と子どもたちの交流が図られ、地域の歴史や文化の継承と併せて、お互いを思いやる心が育まれるように、世代間交流を促進します。

皆さんの意見を反映

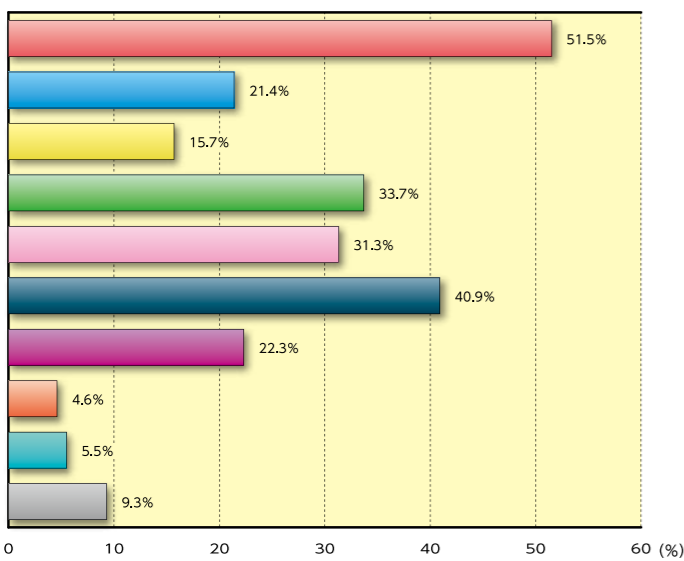
市民の皆さんの意見を広く聴くため、29年3月に市民3000人を対象としてアンケートを実施し、1467人から回答を得ました。また、29年9月から10月にかけて意見交換会を開催。そのほか、30年2月に計画の原案に対して意見を聴くパブリックコメントを行い、頂いた意見を基に計画を策定しました。

計画は、市ホームページから見るすることができます。冊子を希望される人は、地域福祉課福祉総務係(☎・内線1113)まで連絡願います。

住みよい地域社会を実現していく上で問題となることは何だとお考えですか(1人3つまで回答)

- 近所付き合いが減っていること
- 町内会・自治会の活動などに参加しにくい雰囲気があること
- 他人に干渉されプライバシーが守られないこと
- 日中、地域を離れている人が多いこと
- 地域に関心の無い人が多いこと
- 地域活動への若い人の参加が少ないこと
- 地域での交流の機会が少ないこと
- 助け合い、支え合いは必要ないと思うこと
- その他
- 無回答

回答者総数：1,467人



出典：地域福祉計画資料編 アンケート調査結果から抜粋